



環境報告書 2024

ENVIRONMENTAL
REPORT 2024



ミスミグループ
株式会社 駿河生産プラットフォーム

INDEX

ごあいさつ	01
事業内容	02
環境方針	03
環境マネジメント	04～05
環境目的・目標と実績(23年度)	06
環境目標(23年度-25年度)	07
事業活動に伴う環境負荷実績・施策	08～15
環境活動への取り組み	16
会社概要	17

社会の持続的発展を実現するために、地球温暖化対策・生物の多様性保全をはじめとする重要な環境課題解決に向け、人類が叡智を集め真剣に取り組まなければならない時代です。

日本政府は2020年10月に「2050年カーボンニュートラル」を宣言。更に2021年4月米国主催の気候サミットにおいて、日本の2030年度の温室効果ガス削減目標を「2013年度実績に対し46%削減、更に50%の高みに向け挑戦を続けていく」と新たな中間目標を設定。カーボンニュートラル推進が政府主導で加速されています。

駿河生産プラットフォームにおきましても、「テクノロジーとエコロジーの共存」をスローガンに環境負荷の少ない商品開発及び生産活動を推進しております。

グローバルでの生産・供給体制を牽引する重要な拠点として、本社から海外サイトへの環境技術の発信を行うとともに、ミスミグループ全体のEMSを志向し、グループ全体のリスク管理及び法令順守に取り組んで参りました。确实短納期・安定供給を実現しつつ、省エネ・省資源にも貢献しています。

今後も、グローバルにもものづくりを行っている企業としての社会的責務を自覚し、持続可能な社会の実現に向け積極的に貢献して参ります。

今後とも当社の事業につきまして、ステークホルダー皆様からなお一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役社長 遠矢 工

事業内容



あらゆる工場において、その構築の成否が競争力に直結するFA(ファクトリー・オートメーション)。自動化部品製造では、そうした生産ラインを支える様々な部品を開発、製造しています。主要製品は、例えば半導体ウェハの移送工程や産業ロボットの可動部などで使われる、いわゆる機構系の部品。なかでも、リニアガイドやリニアブッシュといった直動システムに関わるものについては、非常に高い技術を誇っています。



プレス製造では、プレス機による金属塑性加工に使用される金型関連部品の開発、製造を行っています。パンチ&ダイ、ガイド、スプリングなど、多種多様な製品を扱っており、なかでも実際に金属の成型を行う部分であるパンチ&ダイ(標準品)では、国内トップクラスのシェアを確保しています。プレス金型関連製品の製造は、駿河精機設立の2年後、1966年から手掛けている主要事業であり、コアコンピタンスである“精密加工技術”を培ってきた当社の土台。現在は切削、研削、研磨といった加工技術に加え、製品開発、設計、品質管理など、すべての事業プロセスに磨きをかけ、決して他社が真似できないトータルな技術力の獲得に努めています。



お客様は、3DのCAD設計データをmeviyのウェブサイトアップロードするだけで、即座に見積もり・発注が出来ます。お客様は、部品発注のための図面作成や、発注の手間が大幅に削減され、お客様の時間を創出します。その革新的な生産プロセスは、自動化・無人化により、最短即日出荷が可能です。meviyデジタルマニュファクチャリングシステムの開発・展開・生産を行うのが、駿河生産プラットフォームです。



OST(Optical & Scientific Technology)製造事業は、駿河生産プラットフォームが20年以上にわたり培ってきた精密加工技術を基盤に、成長産業である携帯端末、医療機器、通信機器、映像機器市場に向け、競争力の高い製品を供給し続けています。特に、製品や部品の加工作業の際の位置調節に不可欠な「位置決めステージ」では国内トップクラスのシェアを誇り、欧米、アジアを中心に成長を続けています。公的研究機関や大手電子機器メーカーなどの研究開発市場向け高精度部品から、生産市場向け精密位置決めユニットや、光学技術を駆使した計測・検査装置など、製品のシステム化によるソリューションビジネスまでグローバルに展開しています。

環境方針

当社は、グローバルカンパニーとして社会的責務を強く認識し、環境関連の法規制及び当社が同意するその他の要求事項を遵守します。

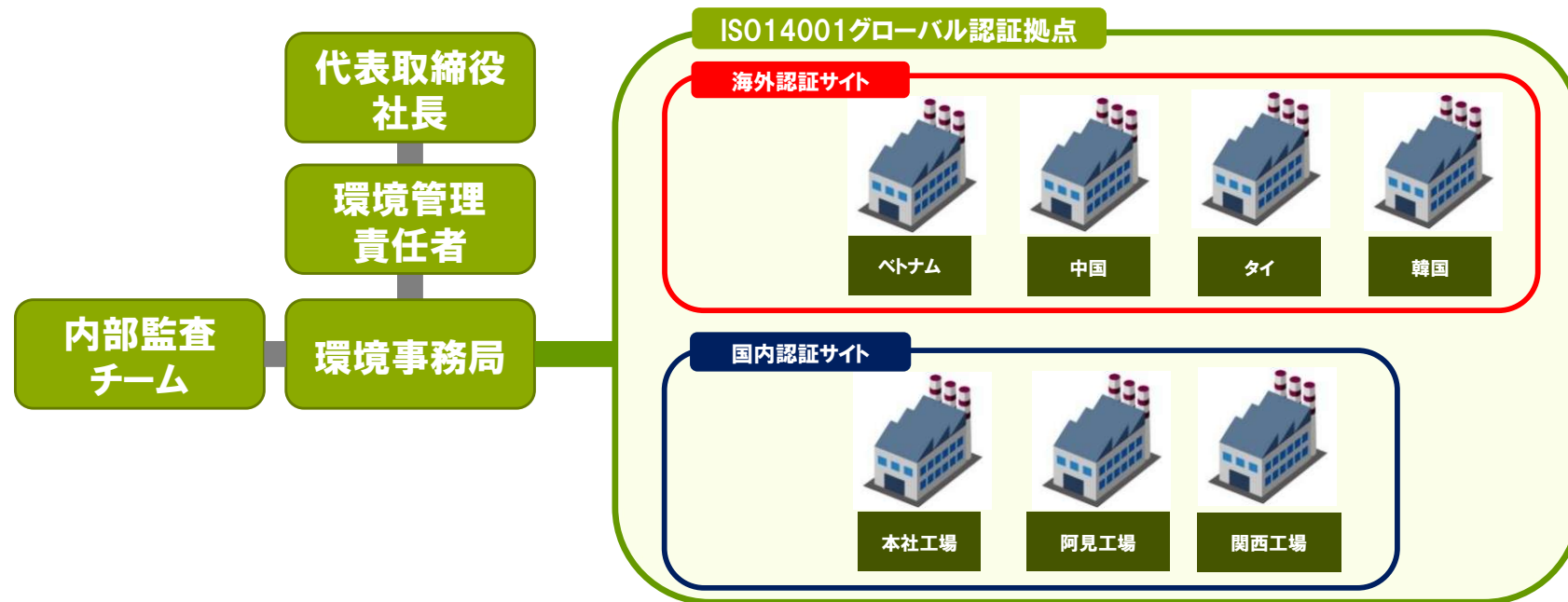
「テクノロジーとエコロジーの共存」をスローガンに掲げ、脱炭素活動への取り組みを推進し、持続可能な社会実現に向けた社会貢献を果たします。

環境行動方針

1. 国内外の環境関連法規制及びその他要求事項の順守
2. 2050年カーボンニュートラル達成に向け、創エネ・省エネ加速
3. 廃棄物の発生抑制及びリサイクルへの取り組み
4. 環境負荷の少ない商品開発及び生産活動
5. 環境汚染の予防
 - 1) 油類・有害物質の漏洩防止
 - 2) 敷地境界線から、騒音の漏れ防止

環境マネジメント

環境管理体制



環境活動体系



□Plan

- ・環境側面
- ・法的及びその他の要求事項

□Do

- ・運用管理
- ・緊急事態への準備及び対応
- ・コミュニケーション
- ・力量・教育訓練及び自覚

□Check

- ・監視及び測定
- ・順守評価
- ・内部監査
- ・マネジメントレビュー

□Action

- ・是正処置及び予防処置
- ・改善事項の水平展開

環境マネジメント

環境委員会

実践的な環境改善活動を推進する事を目的に、定期的に環境委員会を開催しています。委員会では、環境活動方針、環境マネジメントKPI、環境改善活動計画及び実績、環境改善活動などを共有し、環境マネジメント強化を図っています。

内部監査・外部審査

環境マネジメントシステムの運用状況及び有効性の確認、環境活動好事例の横展開を目的とし、毎年内部監査を実施するとともに、ISO14001認証機関による外部審査を受けています。内部監査及び外部監査結果は環境委員会で報告し、環境マネジメントシステムの継続的改善に繋がっています。

【ISO14001 (2015) 認証書】



駿河生産プラットフォームは、このたび、本社、阿見、関西および海外工場を対象として、環境マネジメントシステムISO14001:2015の更新審査を受け、2023年12月6日付けで承認されました。

環境教育

環境教育訓練計画に基づき、従業員への環境教育を行っています。また、環境管理体制を強化するため、サイト管理責任者を中心に、毎年内部監査研修を受講するなど、定期的な環境教育活動を実施しています。

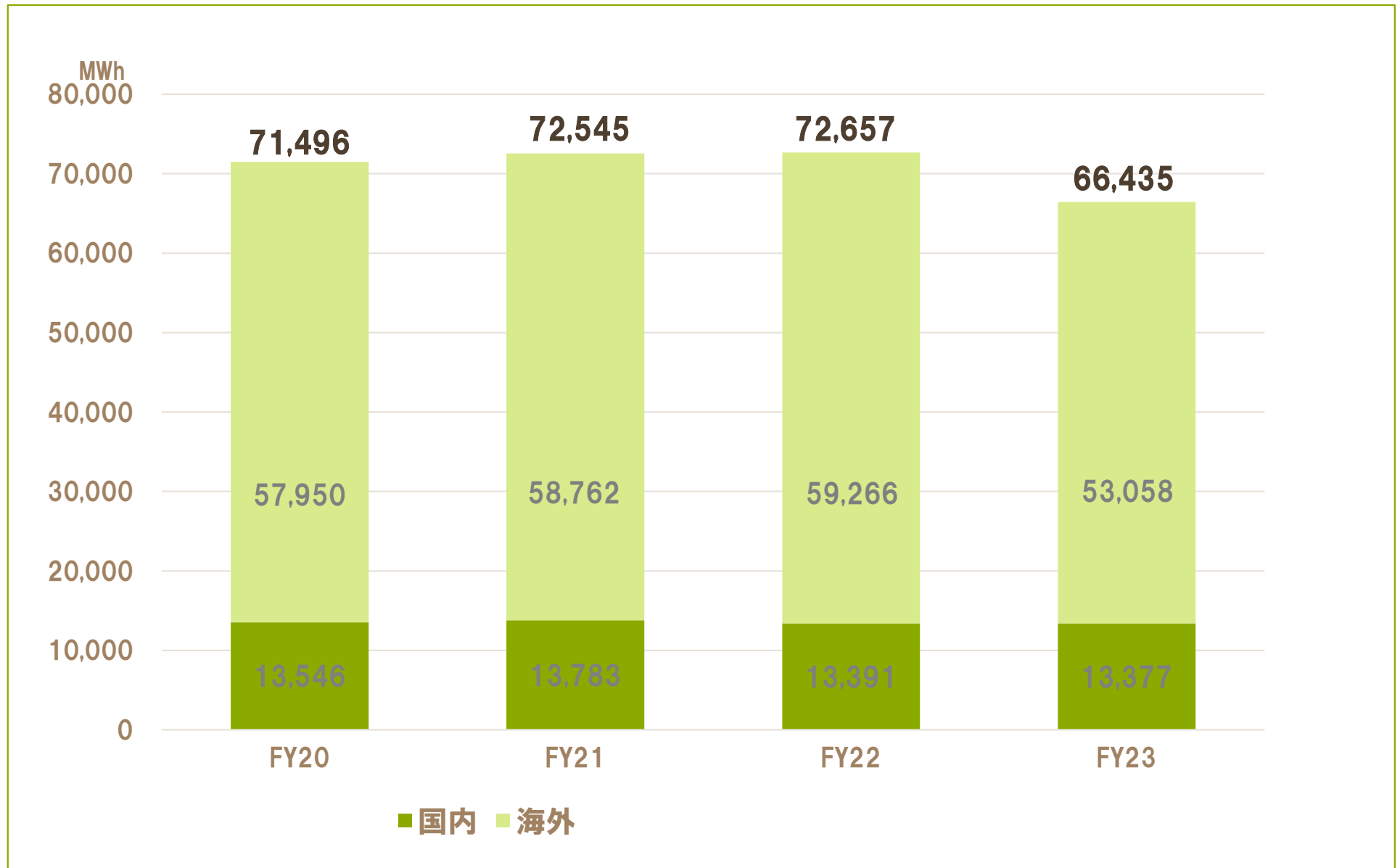
環境目的・目標と実績（23年度）

No.	項目	環境目標	活動実績
1	電力消費量	国内 100% (目標達成拠点数/拠点数)	目標達成率60% (3拠点/5拠点)
		海外 100% (目標達成拠点数/拠点数)	目標達成率50% (3拠点/6拠点)
2	廃棄物排出量	国内 100% (目標達成拠点数/拠点数)	目標達成率75% (3拠点/4拠点)
		海外 100% (目標達成拠点数/拠点数)	目標達成率60% (3拠点/5拠点)
3	リサイクル率	91.3% 以上	92.0%
4	騒音苦情件数	0件	0件
5	漏洩事故件数	0件	0件

環境目標(23年度-25年度)

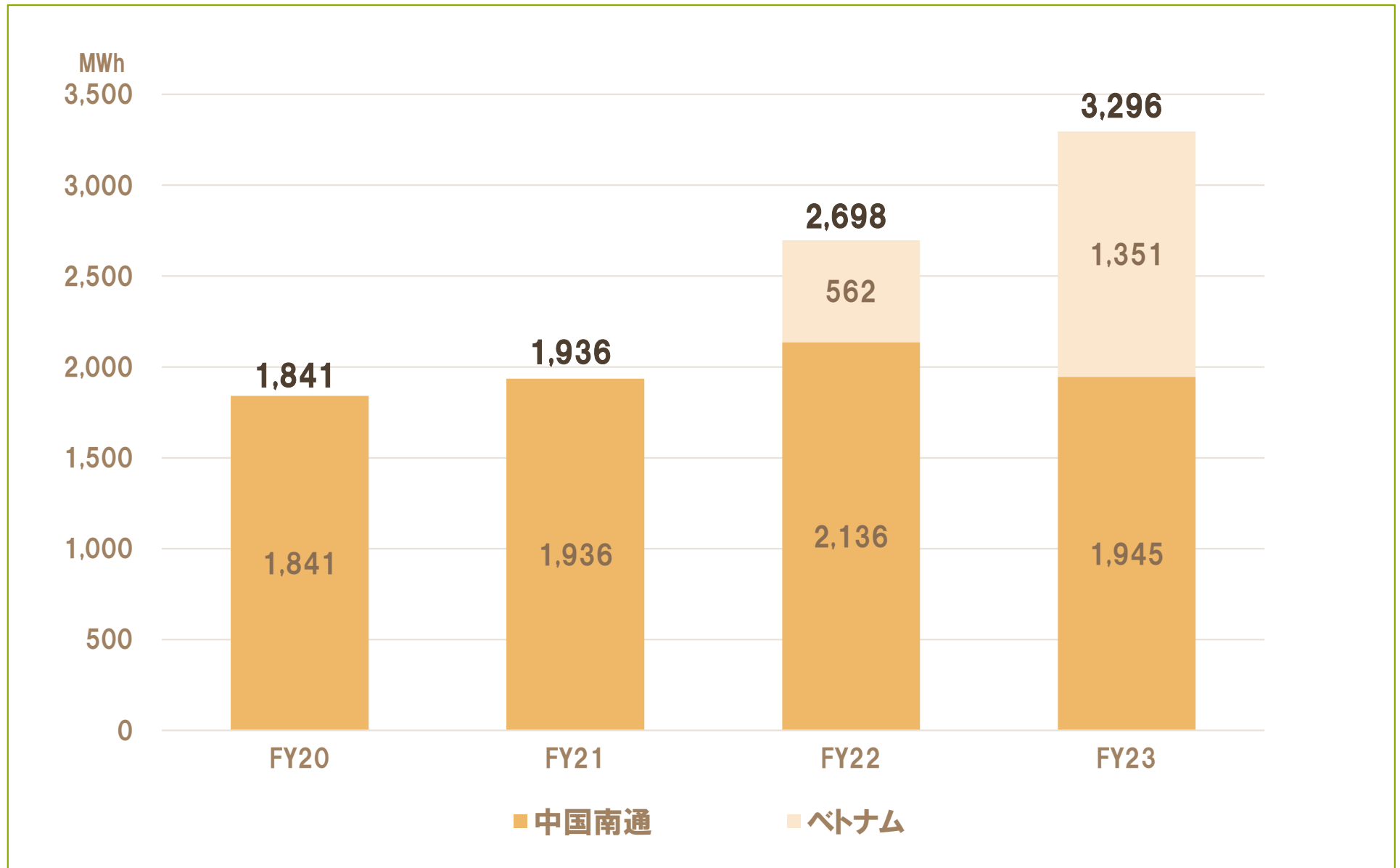
No.	項目	FY23目標	FY24目標	FY25目標
1	電力消費量	FY22比 前年消費量1%削減	FY23比 前年消費量1%削減	FY24比 前年消費量1%削減
2	廃棄物排出量	FY22比 前年排出量1%削減	FY23比 前年排出量1%削減	FY24比 前年排出量1%削減
3	リサイクル率	FY22比1%向上	FY23比1%向上	FY24比1%向上
4	騒音苦情件数	0件	0件	0件
5	漏洩事故件数	0件	0件	0件

事業活動に伴う環境負荷実績(電力使用量推移)



海外・・・ベトナムでの太陽光発電設備導入で電力使用量が減少

事業活動に伴う環境負荷実績(太陽光発電量推移)



海外・・・中国南通は、2018年より太陽光発電を導入。ベトナムでは、FY22より、太陽光発電設備の設置を開始、FY23に設備の増強により対前年比+789MWh

事業活動に伴う環境負荷実績(電力使用量)

単位: MWh	FY22 使用量	FY23 使用量	使用量前期差	使用量前期差(%)
総合計	72,657	66,435	▲6,225	▲8.6%
国内合計	13,391	13,377	▲14	▲0.1%
本社工場	7,679	7,894	215	2.8%
関西工場	3,347	3,181	▲166	▲5.0%
阿見工場	1,993	1,958	▲35	▲1.7%
東京営業所	24	26	2	7.1%
三島精機	348	318	▲30	▲8.6%
海外合計	59,266	53,058	▲6,208	▲10.5%
ベトナム	44,777	39,582	▲5,195	▲11.6%
タイ	1,279	1,156	▲123	▲9.6%
韓国	222	241	19	8.4%
中国上海	3,927	4,000	73	1.9%
中国南通	8,872	7,880	▲992	▲11.2%
インド	189	199	10	5.0%

国内…本社工場では工法、設備開発本格稼働により前期比2.8%悪化、関西工場5.0%、阿見工場1.7%、三島精機8.6%良化
こまめな節電により使用量減、国内合計でも前期比0.1%良化

海外…中国上海では生産量増加も電力使用量は1.9%悪化に留める、ベトナムでは、省エネ活動/太陽光発電増設により11.6%良化
中国南通とタイでは、生産量の影響で電力使用量がそれぞれ11.2%と9.6%良化

創エネ施策実績(太陽光発電量)

単位: MWh	FY22 発電量	FY23 発電量	発電量前期差	発電量前期差(%)
太陽光発電合計	2,698	3,296	598	22.2%
ベトナム太陽光	562	1,351	789	140.4%
中国南通太陽光	2,136	1,945	▲191	▲8.9%

太陽光発電

中国南通・・・FY17より稼働開始、パネルの増設を22年に実施済、FY23は天候の影響により発電量が8.9%悪化
 ベトナム・・・ FY22期中に第4工場で稼働開始、FY23には第4工場で拡張工事を実施、第3工場にも設置を行い
 太陽光発電量が前期差で140.4%良化

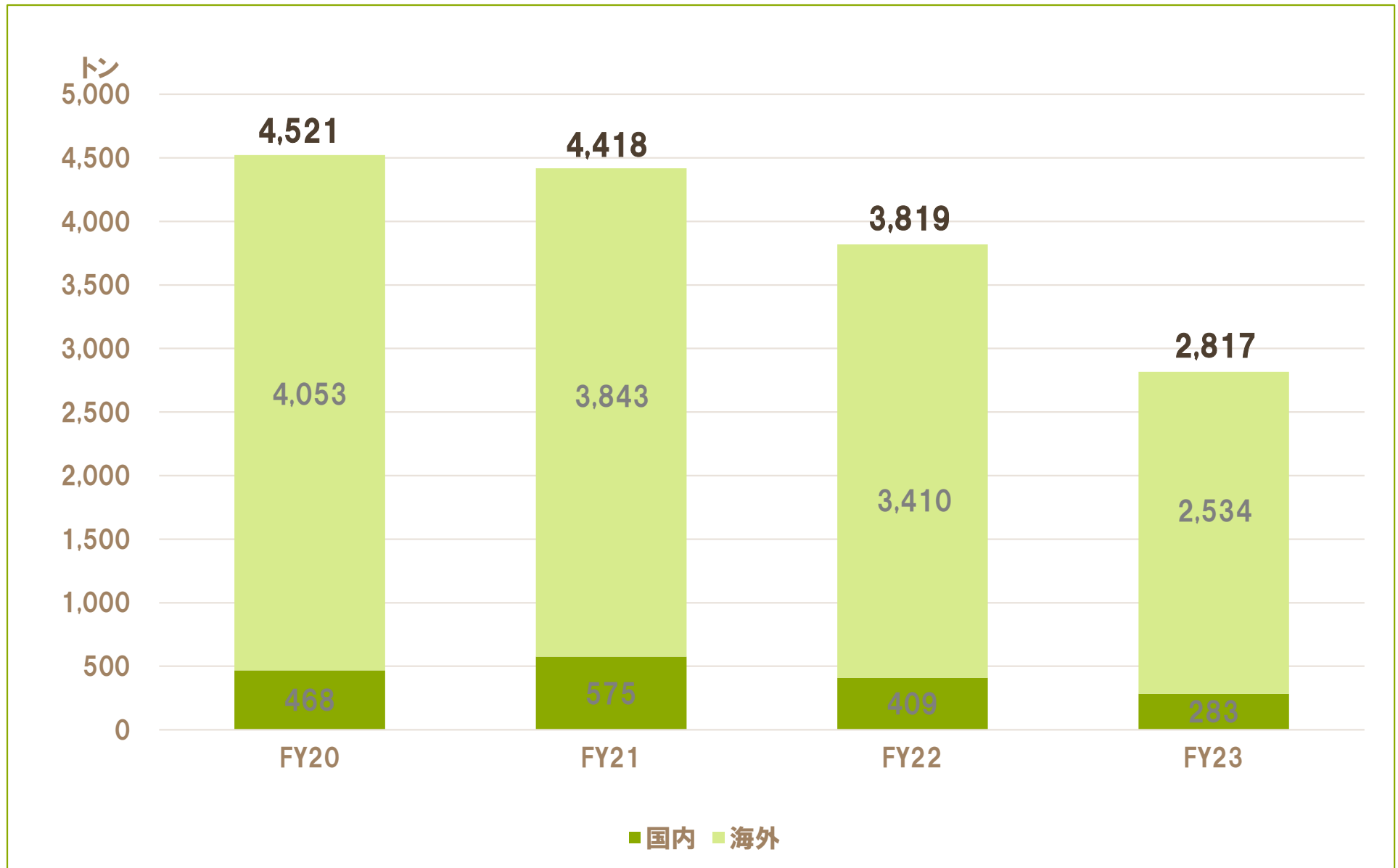


※ベトナム



※中国南通

事業活動に伴う環境負荷実績(廃棄物量推移)



国内と海外は、ともに廃棄物は減少傾向

事業活動に伴う環境負荷実績(廃棄物量)

単位:トン	FY22 廃棄量	FY23 廃棄量	廃棄量前期差	廃棄量前期差(%)
総合計	3,820	2,817	▲1,003	▲26%
国内合計	409	283	▲126	▲31%
本社工場	249	155	▲94	▲38%
関西工場	91	100	9	9%
阿見工場	57	17	▲40	▲70%
三島精機	12	11	▲1	▲8%
海外合計	3,410	2,534	▲876	▲26%
ベトナム	3,200	2,362	▲838	▲26%
タイ	136	97	▲39	▲29%
韓国	2	5	3	123%
中国上海	24	26	2	11%
中国南通	48	43	▲5	▲10%

廃棄物量には、有価物の金属は含まない

国内・・・本社工場では前期比で輸入量の減により段ボール廃棄量削減で38%良化、関西工場では、FY22年に油回収機器が壊れたため廃油排出が減少した影響により、FY23の廃棄物が9%悪化、阿見工場では機械設備の油の交換サイクル見直しにより廃油を削減により70%良化

海外・・・生産量減少による廃棄物量がベトナム26%、タイ29%、中国南通10%良化、韓国は機械設備の交換により廃油が大幅増により123%悪化、中国上海はFY22ロックダウンの影響を受けFY23が増加し11%悪化

事業活動に伴う環境負荷実績(リサイクル量・率)

単位: トン	FY22 リサイクル量	FY23 リサイクル量	リサイクル量 前期差	単位: %	FY22 リサイクル率	FY23 リサイクル率	リサイクル率 前期差
総合計	7,491	5,884	▲1,607	総合計	93%	92%	▲1pt
国内合計	1110	910	▲200	国内合計	86%	84%	▲2pt
本社工場	280	190	▲90	本社工場	86%	84%	▲2pt
関西工場	285	278	▲7	関西工場	90%	90%	0pt
阿見工場	521	421	▲100	阿見工場	83%	80%	▲3pt
三島精機	24	22	▲2	三島精機	96%	96%	0pt
海外合計	6,381	4,975	▲1,406	海外合計	95%	94%	▲1pt
ベトナム	5,437	3,941	▲1,496	ベトナム	100%	100%	0pt
タイ	138	99	▲39	タイ	100%	100%	0pt
韓国	10	13	3	韓国	100%	100%	0pt
中国上海	85	96	11	中国上海	54%	54%	0pt
中国南通	710	825	115	中国南通	71%	76%	5pt

リサイクル量・率には、有価物の金属を含む

国内・・・本社工場では、段ボール削減の影響で1pt悪化、阿見工場では、廃油削減の影響で3pt悪化

海外・・・中国南通では、リサイクル出来ない廃棄物減少により5%良化

事業活動に伴う環境負荷実績(騒音苦情、油漏洩事故件数)

	FY22 件数		FY23 件数		苦情・事故 前期差
	騒音苦情	油漏洩	騒音苦情	油漏洩	
国内	0	0	0	0	0
本社工場	0	0	0	0	0
関西工場	0	0	0	0	0
阿見工場	0	0	0	0	0
三島精機	0	0	0	0	0
海外	0	0	0	0	0
ベトナム	0	0	0	0	0
タイ	0	0	0	0	0
韓国	0	0	0	0	0
中国上海	0	0	0	0	0
中国南通	0	0	0	0	0

作業環境測定・・・各拠点では、敷地境界線にて年1回騒音測定を実施、外部からの苦情なし

油漏洩事故・・・安全パトロールでリスクを事前察知、打ち手実行により、事故の発生なし

環境活動への取り組み

脱炭素社会への取り組み

2023年度の取り組み

- ・国内全工場にCO₂フリー電気の導入済
- ・清水工場では空調自動制御システムにより空調機の電力使用量を約14%削減
- ・2024年2月、3月ベトナム工場では工場敷地内へ太陽光発電パネルを増設、CO₂削減を加速

廃棄物排出量削減

廃棄物リサイクルを推進していくために、廃棄物の適切な分別を実施、全社平均リサイクル率90%以上を維持しています。また、製造工程で生じる不良ロス削減のために、生産工程改善や新たな設備の導入、適切な設備保全に取り組んでいます。

「RoHS指令／グリーン調達対応

RoHS指令やグリーン調達に対応するため、当社では事業ごとに材料・部品の制限・禁止物質を調査し、代替化を推進しています。例えば、精密位置決めステージに組み込まれる黄銅部品を低カドミウム材料へ代替することで適合を図っています。特注品対応と合わせ、適合製品の販売を順次計画しています。また、地球環境保全が地球にとって最重要課題であると認識し、当社の企業活動において地球環境の保全と向上に誠意を持って配慮し、行動いたします。

会社概要

会社概要 事業内容

2024年3月末現在
自動化部品関連事業、精密金型部品関連事業、meviy事業
光関連機器関連事業

本社

〒424-8566
静岡県静岡市清水区七ツ新屋505
Tel :054-344-0311(代表)
Fax:054-346-1053

URL

<https://www.suruga-g.co.jp/>

創立

1964年5月8日

代表者

代表取締役社長 遠矢工

資本金

491 百万円

従業員数

5,440名（うち国内勤務者822名）

主要取引先

株式会社ミスミ・駿河精機株式会社・他

取引銀行

みずほ銀行 清水支店



駿河生産プラットフォームは、ミクロン単位の精度が要求される精密加工技術を基盤に事業を展開しています。主要事業は、国内トップクラスのシェアを誇るパンチ&ダイ部品などを手掛けるプレス金型部品製造事業をはじめ、モールド金型部品製造事業、自動化部品製造事業、光関連機器製造事業です。

これらはいずれも最先端の産業・技術を支えるため、「最先端の一步先」を行くことを使命としています。また、グローバル供給を支えるべく、ベトナム、韓国、中国、タイ、インドに拠点を構えています。

今後も、商品開発や生産技術分野に加え、総務、人事、財務、情報システムなど、あらゆる領域で「たゆまない革新」を続け、より一層質の高い経営を目指します。